

令和5年度みきっ子未来応援協議会 第1回子育て環境部会 次第

日時： 令和5年11月2日（木）

午後7時から

場所： 三木市役所5階 中会議室

1 開会

2 あいさつ

3 委員、事務局自己紹介

4 議事

第三期三木市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査について

5 その他

6 閉会

三木市子ども・子育て支援事業計画 策定のためのアンケート調査

皆様には日頃から住みよいまちづくりにご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

三木市では、平成 27 年度にスタートした「子ども・子育て支援新制度」にともない、幼保一体化や 0～2 歳児の保育料の半額補助、3～5 歳児の副食費補助など、子育てしやすいまちづくりを進めてきました。この度、本市の子育て支援施策の指針である「三木市子ども・子育て支援事業計画」の見直し時期を迎え、改めて皆様のご意見をお聞きし、これからの事業に生かしていきたいと考えています。つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

この調査は、すべて無記名で行います。結果は統計的に処理されますので、個人が特定されたり、回答した内容を他の人に知られたりすることはありません。本市の子育て支援施策のさらなる充実に向け、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願い申し上げます。

令和 5 年 12 月

三木市長 仲田 一彦



1 調査の対象者

三木市に居住する就学前児童全員

2 ご記入にあたってのお願い

- ・ご回答は、宛名のお子さまの保護者が、ご記入ください。
- ・調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ〇で囲んでください。
- ・時刻を記入するところでは、当てはまる時間を、24 時間表記で記載してください。
(例) 9時～18時、17時まで
- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
〇月〇日 (〇) までにご返送ください。(切手は不要です。)
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】三木市 健康福祉部 子育て支援課 電話：0794-83-2020

FAX：0794-82-5881

1 お子さまとご家族の状況について

問1 宛名のお子さまの生年月月をご記入ください。

平成・令和（ ）年（ ）月 生まれ

問2 宛名のお子さまを含め、お子さまは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、一番下のお子さまの年齢(令和5年4月1日現在の年齢)をご記入ください。

子どもの数：（ ）人 一番下の子の年齢：（ ）歳

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さまからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 父親 2. 母親 3. その他（ ）

問4 お住まいの小学校区はどちらですか。(1つに○)

1. 三樹小学校区 2. 平田小学校区 3. 三木小学校区 4. 別所小学校区
5. 志染小学校区 6. 口吉川小学校区 7. 豊地小学校区 8. 緑が丘小学校区
9. 緑が丘東小学校区 10. 自由が丘小学校区 11. 自由が丘東小学校区 12. 広野小学校区
13. 吉川小学校区 14. わからない

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

※このアンケートでは、法的に婚姻関係ではなくても同居しているパートナーがいる場合は配偶者に含めます。また、別居している配偶者は配偶者には含めません。ただし、単身赴任の場合は配偶者に含めます。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

2 子どもの育ちをめぐる環境について

問6 日頃、お子さまを預けられる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預けられる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預けられる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

問7 お子さまの子育てに関して、気軽に相談できる先は、ありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 祖父母等の親族
3. 友人や知人	4. 認定こども園*・幼稚園・保育所等
5. 保健センター	6. 児童センター・吉川児童館
7. 児童センター・吉川児童館以外の子育て支援団体	8. 子育て支援総合窓口
9. 子育て支援総合窓口以外の市役所の窓口	10. かかりつけの医師
11. その他 ()	12. いない

※認定こども園：保育施設と幼稚園の機能をあわせもつ施設

3 保護者の就労状況について

**問8 宛名のお子さまの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)についてお答えください。
(父親と母親それぞれ1つに○)**

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

(1)父親 ※ひとり親家庭(母親のみ)の場合は記載不要

1. 週に 30 時間以上で働いている
2. 週に 12 時間以上、30 時間未満で働いている
3. 週に 12 時間未満で働いている
4. 休職中だが、週に 30 時間以上での復帰を予定している
5. 休職中だが、週に 30 時間未満での復帰を予定している
6. 現在求職中である
7. 病気や障がい、通学などのために仕事ができない
8. 現在仕事をしておらず(休職中を含む)、今のところ仕事をする(復帰する)予定はない
9. その他 ()

(2)母親 ※ひとり親家庭(父親のみ)の場合は記載不要

1. 週に 30 時間以上で働いている
2. 週に 12 時間以上、30 時間未満で働いている
3. 週に 12 時間未満で働いている
4. 休職中だが、週に 30 時間以上での復帰を予定している
5. 休職中だが、週に 30 時間未満での復帰を予定している
6. 現在求職中である
7. 病気や障がい、通学などのために仕事ができない
8. 現在仕事をしておらず(休職中を含む)、今のところ仕事をする(復帰する)予定はない
9. その他 ()

4 平日の定期的な認定こども園・幼稚園・保育所等の利用状況について

問9 宛名のお子さまは現在、認定こども園・幼稚園・保育所等を利用されていますか。(1つに○)

※園庭開放や未就園児応援事業等は除きます。

1. 利用している ⇒問9-1～3へ 2. 利用していない ⇒問9-4へ

問9-1 問9で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

利用しているのはどこですか。(1つに○)

1. 三木市内 2. 三木市外(市町村名:)

問9-2 問9で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

宛名のお子さまは、どのような教育・保育施設等を利用していますか。利用している施設について、
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 公立認定こども園^{※1} 2. 私立認定こども園^{※1}
3. 公立幼稚園(通常の就園時間の利用) 4. 私立幼稚園(通常の就園時間の利用)
5. 公立保育所 6. 私立保育所
7. 小規模保育施設^{※2} 8. 保護者が就労する事業所内の保育施設
9. その他の認可外保育施設^{※3} 10. ファミリーサポートセンター^{※4}
11. 児童発達支援事業所^{※5}
12. その他()

※1 認定こども園 : 保育施設と幼稚園の機能をあわせもつ施設

※2 小規模保育施設 : 0～2歳児を対象とした少人数(6～19人)の保育施設で市が認可したもの

※3 認可外保育施設 : 認可外保育施設として県に届出をしている施設

※4 ファミリーサポートセンター : 子育ての援助をしてほしい人と、子育てのサポートをしたい人が、それぞれ会員として登録して、一時的に子どもを預かったり送迎の支援をしたりする事業

※5 児童発達支援事業所 : 発達に支援が必要な児童に対し、支援を提供する事業所

問9-3 問9で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

利用している施設を選んだ理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 仕事の都合 2. 小学校区域
3. 居住地に近い 4. 知り合いがいる
5. きょうだいが入園(卒園)した 6. 職員の対応が良かった
7. 教育・保育内容や園の方針が良い
8. その他()

問9-4 問9で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

平日の「定期的な」教育・保育を利用していない理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父または母が家庭での子育てに専念している
2. 祖父母等の親族が子どもをみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の施設に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが延長・夜間等の時間帯や場所の条件が整わない
7. 利用したいが、施設の質や場所など、納得できる施設がない
8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（)

問 10 現在利用しているか、していないかにかかわらず、今後、宛名のお子さまの教育・保育の施設として、定期的な利用を希望する施設について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 公立幼稚園
2. 私立幼稚園
3. 幼稚園の預かり保育
4. 公立認定こども園^{※1}
5. 私立認定こども園[※]
6. 公立保育所
7. 私立保育所
8. 小規模保育施設^{※2}
9. 保護者が就労する事業所内の保育施設
10. その他の認可外保育施設^{※3}
11. 児童発達支援事業所^{※5}
12. ファミリーサポートセンター^{※4}
13. その他（)
14. 利用したいと思うものはない

※1 認定こども園 : 保育施設と幼稚園の機能をあわせもつ施設

※2 小規模保育施設 : 0～2歳児を対象とした少人数（6～19人）の保育施設で市が認可したもの

※3 認可外保育施設 : 認可外保育施設として県に届出をしている施設

※4 ファミリーサポートセンター : 子育ての援助をしてほしい人と、子育てのサポートをしたい人が、それぞれ会員として登録して、一時的に子どもを預かったり送迎の支援をしたりする事業

※5 児童発達支援事業所 : 発達に支援が必要な児童に対し、支援を提供する事業所

問 10-1 問 10で「1」～「3」に○をつけ、かつ「4」～「13」に○をつけた方におうかがいします。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。
（1つに○） ←国からの新規設問

1. はい
2. いいえ

問 11 **すべての方におうかがいします。宛名のお子さまについて、どのような教育・保育内容を希望されますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

1. 外遊び・運動遊びの充実	2. 音楽・絵画などの表現活動
3. 自然や命を感じたり、大切にしたりする体験	4. 絵本・物語等に親しみ、情緒を豊かにする活動
5. 食育	6. 先生や友達との信頼関係
7. 基本的な生活習慣（くつをそろえる・あいさつをする等）	8. 個性・特性に応じた教育・保育
9. 発達内容に応じた教育・保育	10. 集団の中での社会性の育成
11. 道徳性、規範意識の育成	
12. 就学に向けての基本的な生活態度（話を聞く、言葉で伝える等）	
13. 地域・小学校との連携	
14. その他（	）

5 土曜・休日や長期の休みの認定こども園・幼稚園・保育所等の利用希望について

問 12 **土曜日、日曜日・祝日に、仕事や通学、家族の介護等の理由で、定期的な教育・保育施設の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。利用したい場合は、利用したい時間帯もご記入ください。**

※なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい	} ⇒ () 時～() 時
3. 月に1～2回は利用したい	
※24時間で記入してください 例：(9)時～(17)時	

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい	} ⇒ () 時～() 時
3. 月に1～2回は利用したい	
※24時間で記入してください 例：(9)時～(17)時	

問 13 **「幼稚園」または「認定こども園(1号認定)」を利用されている方(保育認定を受けていない方)におうかがいします。宛名のお子さまについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育施設の利用を希望しますか。(1つに○)※なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。**

1. 利用する必要はない	利用したい時間帯
2. ほぼ毎日利用したい	} ⇒ () 時～() 時
3. 週に数日利用したい	
※24時間で記入してください 例：(9)時～(17)時	
↳ 問 13-1 へ	

問 13-1 問 13 で「3. 週に数日利用したい」を選ばれた方におうかがいします。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 子どもの教育や発達のため
----------------	-----------------

3. 親族の介護や手伝いが必要なため 4. その他 ()

6 お子さまの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

⇒平日の教育・保育を利用していない方は問 15 へ

問 14 認定こども園・幼稚園・保育所等を利用していると答えた保護者の方(問9で「1. 利用している」を選ばれた方)におうかがいします。

この1年間に、宛名のお子さまが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
(1つに○)

1. あった ⇒ 問 14-1～3へ 2. なかった ⇒ 問 15 へ

問 14-1 問 14 で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。

通常の利用ができなかった日数は、1年間にだいたい何日くらいありましたか。(数字を記入)

年に () 日くらい

問 14-2 問 14 で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。

通常の利用ができなかった日数のうち、お子さまをどこかで保育(看護を含む)してもらいたいと思
った日数は、だいたい何日くらいありましたか。(数字を記入)

年に () 日くらい ※病院等に入院していた日数は含めません

問 14-3 問 14 で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。

その際、病児・病後児保育(下記参照)を利用しましたか。当てはまる番号に○をつけ、利用した
日数についても()内に数字でご記入ください。

1. 病児・病後児保育を利用した【年に () 日利用した】 ⇒ 問 16 へ
2. 病児・病後児保育を利用しなかった ⇒ 問 15-4 へ

病児・病後児保育：「病氣中・病氣回復期」にある児童の一時預かり事業です。三木市では、生後6か月～小学校6年生までの児童で「病氣中」または「病氣の回復期」のため、家庭や集団での保育看護が困難となった児童を対象に市内1か所で実施しています。

問 14-4 問 14-3 で「2. 病児・病後児保育を利用しなかった」を選ばれた方におうかがいします。

利用しなかった理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親が仕事を休んで対応した
2. 病児・病後児保育について知らなかった
3. 手続き方法・利用料がわからない
4. 利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い

6. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安がある

7. その他 (

)

7 一時預かり等の不規則の利用について

問 15 宛名のお子さまについて、不規則に利用している事業はありますか。利用している番号すべてに○をつけ、()に年間のおおよその利用日数を記入してください。

利用している事業	日数（年間）
1. 認定こども園等での一時預かり	年（ ） 日
2. 児童センター・吉川児童館での一時預かり	年（ ） 日
3. ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かる事業）	年（ ） 日
4. 子育てショートステイ（お子さまの宿泊を伴う一時預かり）	年（ ） 日
5. 認可外保育施設（認可外保育施設として県に届出をしている施設）	年（ ） 日
6. その他（ ）	年（ ） 日
7. 利用していない ⇒ 問 15-1 へ	

問 15-1 問 15 で「7. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

一時預かり等を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 一時預かり等について知らなかった
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 手続き方法・利用料がわからない
7. 利用したい事業が地域にない
8. その他（ ）

問 16 宛名のお子さまについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、一時預かりを利用する必要があると思いますか（1つに○）。あると思われる場合は、()内に数字でご記入ください。

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 利用する必要がある：年に（ ）日くらい | 2. 利用する必要がある |
|------------------------|--------------|

問 17 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや不安、病気など)により、宛名

のお子さまを泊まりがけで家族・親族以外に預けなければならないことはありましたか。(1つに○)

1. 1～2日あった

2. 3～4日あった

3. 5～10日あった

4. 10日以上あった

5. なかった

8 児童センター・吉川児童館について

問 18 宛名のお子さまは、現在、児童センター、吉川児童館、子育てキャラバンを利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1か月のおよその利用日数を()に記入してください。

利用している事業	ひと月当たりの日数
1. 児童センター（教育センター内で実施している子育て支援の事業含む）	月（ ） 日
2. 吉川児童館	月（ ） 日
3. 子育てキャラバン（児童センタースタッフが各公民館等で親子遊びを届ける事業）	月（ ） 日
4. 利用していない ⇒ 問 18-1 へ	

問 18-1 問 18 で「4. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童センター、吉川児童館、子育てキャラバンについて知らなかった 2. 認定こども園・幼稚園・保育所等に通っている 3. 公民館の乳幼児学級や他の子育て団体の事業等に参加している 4. 交通手段がなかったり、交通が不便で利用しにくい 5. 日時・場所・イベントなどの情報が少ない 6. 特に利用する必要を感じない 7. その他（ ）
--

問 19 すべての方におうかがいします。

児童センター、吉川児童館、子育てキャラバン等について、今後、利用したいと思いますか。（1つに○）

1. 現在利用しており、今後も同じように利用を続けたい 2. 現在利用しているが、できれば利用日数を増やしたい 3. 現在利用していないが、できれば今後利用したい 4. 現在利用しておらず、これからも利用したいとは思わない 5. その他（ ）

問 20 児童センター、吉川児童館、子育てキャラバン等を利用するにあたり、より充実してほしいことはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 平日（月～金曜日）のイベントを増やす |
| 2. 休日（土・日・祝日）のイベントを増やす |
| 3. イベントよりも施設を自由に使えるほうが良い |
| 4. 育児相談などの充実 |
| 5. 利用方法やイベント情報のPR |
| 6. もっと身近な場所で子育てキャラバンを実施 |
| 7. 子育て仲間づくりの支援 |
| 8. その他（ ） |
| 9. 今のままでよい |

9 小学校就学後の放課後の過ごし方について

※令和5年4月1日現在、

宛名のお子さまが3歳以上の方は問21へ、0～2歳の方は問22へお進みください。

問 21 宛名のお子さまが小学校入学後の放課後(平日の授業終了後)に、利用したい預かりサービスはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい週当たりの日数と、何年生まで利用したいかをご記入ください。

利用したい預かりサービス	利用したい日数と学年
1. アフタースクール※1 ⇒ 問21-1へ	週（ ）日くらい 小学（ ）年生まで利用したい
2. ファミリーサポートセンター	週（ ）日くらい 小学（ ）年生まで利用したい
3. 放課後等デイサービス※2	週（ ）日くらい 小学（ ）年生まで利用したい
4. その他 ※具体的にご記入ください ()	週（ ）日くらい 小学（ ）年生まで利用したい
5. 利用する予定はない	
6. わからない	

※1 アフタースクール : 三木市では小学1年生から6年生を対象として、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、放課後や土曜日、夏・冬・春休みに支援員のもとで、子どもの生活の場を提供しています(学童保育または放課後児童クラブとも言いますが、三木市ではアフタースクールと呼んでいます)。

※2 放課後等デイサービス: 障がいのある子どもや発達に特性のある子どものための、放課後や夏休みなどの長期休暇に利用できる福祉サービスです。

※なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

問 21-1 問 21 で「1. アフタースクール事業」を選ばれた方におうかがいします。

宛名のお子さまについて、日曜日・祝日のアフタースクールの利用希望はありますか。(それぞれ1つに○) また、利用したい場合は、利用したい時間帯もご記入ください。

(1) 日曜日

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		() 時～() 時
3. 月に1～2回は利用したい		※24時間で記入してください 例：(9)時～(17)時

(2) 祝日

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		() 時～() 時
3. 月に1～2回は利用したい		※24時間で記入してください 例：(9)時～(17)時

問 22 すべての方におうかがいします。

国においては、地域住民が主体となって、放課後や週末に子ども同士、子どもと大人の交流の機会をもうけ、体験及び学習活動を行う「放課後子ども教室」が推進されています(三木市では未実施)。「放課後子ども教室」があれば利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 利用したいし運営に協力したい	2. 運営に協力はできないが利用したい
3. 運営に協力したいが利用はしない	4. 運営への協力はできず、利用もしない

放課後子ども教室：地域のボランティア等が主体となって実施され、保護者の就労等を条件とせずすべての子どもを対象として、放課後等に様々な体験活動や学習活動を行ったり、子ども同士や子どもと大人の交流の機会をもうけたりする事業です。開催日は地域の実情によりま

10 仕事と子育ての両立支援制度について

問 23 育児休業制度について、次のことをご存知でしたか。ご存知だったことについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。※自営業や無職の方もお答えください。

1. 子どもが原則1歳(保育所に入所できないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで、勤務先の健康保険組合等から育児休業給付金が支給されること
2. 子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について、勤務先の健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になること
3. 国民年金について、産前産後期間の保険料が免除になること
4. 全て知らなかった

育児休業制度：産前産後の休業(産前6週間、産後8週間)の後、子どもが原則として1歳になるまでの休

問 24 宛名のお子さまが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか(父親と母親それぞれ1つに○)。また、取得していない方は、その理由を下の一覧から選んで、番号でご記入ください。

※ひとり親家庭の場合は、「父親」「母親」のうち該当する部分のみお答えください。

(1) 父親

1. 働いていなかった	⇒問 25
^	
2. 育児休業制度の対象となる働き方ではなかった(自営業・短期雇用等)	⇒問 25
^	
3. 取得中である ⇒ 取得期間()日	⇒問 24-4(1)
^	
4. 取得した ⇒ 取得期間()日	⇒問 24-1(1)
^	
5. 取得していない	
↳ その理由 / 下から番号を選択(いくつでも)()	⇒問 25
^	

(2) 母親

1. 妊娠前から働いていなかった	⇒問 25
^	
2. 育児休業制度の対象となる働き方ではなかった(自営業・短期雇用等)	⇒問 25
^	
3. 取得中である ⇒ 取得期間()日	⇒問 24-4(2)
^	
4. 取得した ⇒ 取得期間()日	⇒問 24-1(2)
^	
5. 取得していない(妊娠・出産を理由に退職した方を含む)	
↳ その理由 / 下から番号を選択(いくつでも)()	⇒問 25
^	

【取得していない理由の一覧(上で「5. 取得していない」を選ばれた方のみ)】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる |
|---|

7. 認定こども園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（

問 24-1 問 24(1)もしくは(2)で「4. 取得した」を選ばれた方におうかがいします。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)

(1) 父親

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | ⇒ 問 24-2・3 の (1) へ |
| 2. 育児休業中に離職した | ⇒ 問 25 へ |

(2) 母親

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | ⇒ 問 24-2・3 の (2) へ |
| 2. 育児休業中に離職した | ⇒ 問 25 へ |

問 24-2 問 24-1(1)もしくは(2)で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方におうかがいします。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1つに○)

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 24-3 問 24-1(1)もしくは(2)で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方におうかがいします。

育児休業からは、「実際」にお子さまが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先に3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(数字を記入)

(1) 父親

■実際の取得期間

■希望

()歳 ()ヶ月

()歳 ()ヶ月

(2) 母親

■実際の取得期間

()歳 ()ヶ月

■希望

()歳 ()ヶ月

問 24-4 問 24 で「3. 取得中である」を選ばれた方におうかがいします。

宛名のお子さまが1歳になったときに必ず預けられる先があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる先があれば1歳になる前に復帰しますか。(1つに○)

(1) 父親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 母親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

11 子育てについて悩んでいることについて

問 25 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 病気や発育・発達に関すること |
| 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 育児のことがよくわからないこと |
| 4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと |
| 5. 子どもと過ごす時間が十分とれないこと |
| 6. 子どもの教育に関すること |
| 7. 子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること |
| 8. 子どもの登所・登園拒否などの問題 |
| 9. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと |
| 10. 配偶者や祖父母と子育てに関して意見が合わないこと |
| 11. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること |
| 12. 子育てに関して話し相手や相談相手がないこと |
| 13. 仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間が十分とれないこと |
| 14. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 15. 子育てによる身体の疲れが大きいこと |
| 16. 子育てにかかる出費がかさむこと |
| 17. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれないこと |
| 18. 住居が狭いこと |
| 19. その他() |
| 20. 悩んでいることや気になることはない |

問 28 子育てをしていて、お子さまにつらくあたってしまうようなことがありますか。①～④のそれぞれについて、1～4のいずれか1つに○をつけてください。

	よくある	ときどきある	たまにある	ない
①子どもをたたいたり、つねったりすることがある	1	2	3	4
②子どもに対して、どなったり、または無視したりすることがある	1	2	3	4
③子どもの食事や身支度などの世話をするのが面倒に感じ、放っておくことがある	1	2	3	4
④子どもにつらくあたりそうなときは、人に相談するなどして解消している	1	2	3	4

問 29 「しつけ」のためであれば、子どもへの「体罰」や「虐待」に当たる行為は、するべきだと思いますか。

1. 積極的にすべきである。
2. 必要に応じてすべきである
3. 他に手段がないと思ったときのみすべきである。
4. 決してすべきではない。

12 三木市の子育て環境全般について

問 30 あなたは、三木市の子育て環境等に関する以下の項目を、どのように感じますか。①～⑦のそれぞれについて、1～5のいずれか1つに○をつけてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
①認定こども園・幼稚園・保育所等の保育サービスに満足している	1	2	3	4	5
②子育て中に楽しめるイベントが充実している	1	2	3	4	5
③子育てしながら安心して働ける	1	2	3	4	5
④乳幼児健診の体制に満足している	1	2	3	4	5
⑤小児医療体制に満足している	1	2	3	4	5
⑥子どもへの教育環境が充実している	1	2	3	4	5
⑦青少年が健全に過ごせるまちだと感じる	1	2	3	4	5

⑧障がいなどがある子どもを安心して育てられる	1	2	3	4	5
⑨子育てが地域の人たちに支えられている	1	2	3	4	5
⑩公園など子どもの遊び場が充実している	1	2	3	4	5
⑪子どもが犯罪被害にあう事の少ない安全なまちだ	1	2	3	4	5

問 31 宛名のお子さまの子育てをする上で、主に誰(どこ)から情報を収集していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 祖父母等の親族
3. 友人や知人	4. 認定こども園・幼稚園・保育所等
5. 保健センター	6. 児童センター・吉川児童館
7. 児童センター・吉川児童館以外の子育て支援団体	8. 自治体の子育て関連担当窓口
9. 民生委員・児童委員	10. かかりつけの医師
11. 三木市の広報・ホームページ	12. 書籍・雑誌
13. インターネット・SNS	14. その他 ()

問 32 あなたは、三木市に住んでどのくらいになりますか。(数字で記入)

() 年

問 33 あなたは、今後も三木市に住み続けて子育てをしたいと思えますか。(1つに○)

1. 住み続けたい 2. 住み続けたくない 3. わからない

問 34 最後に、三木市における子育ての支援や教育・保育サービスの充実について、ご意見やご提案があれば、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

この調査票は、○月○日(○)までに、

同封の返信用封筒に入れて、ポストに投かんしてください。

三木市子ども・子育て支援事業計画 策定のためのアンケート調査

皆様には日頃から住みよいまちづくりにご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

三木市では、平成 27 年度にスタートした「子ども・子育て支援新制度」にともない、幼保一体化や保育料の一部無償化など、子育てしやすいまちづくりを進めてきました。この度、本市の子育て支援施策の指針である「三木市子ども・子育て支援事業計画」の見直し時期を迎え、改めて皆様のご意見をお聞きし、これからの事業に生かしていきたいと考えています。つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

この調査は、すべて無記名で行います。結果は統計的に処理されますので、個人が特定されたり、回答した内容を他の人に知られたりすることはありません。本市の子育て支援施策のさらなる充実に向け、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願い申し上げます。

令和5年 12月

三木市長 仲田 一彦



今後5年間の、教育・保育サービスや地域の子育て支援サービス量を考えるために必要!

1 調査の対象者

三木市に居住する小学生児童から無作為抽出された〇〇名

2 ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、宛名のお子さまの保護者が、ご記入ください。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ〇で囲んでください。
- 時刻を記入するところでは、当てはまる時間を、24 時間表記で記載してください。
(例) 9時～18時、17時まで
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
〇月〇日(〇)までにご返送ください。(切手は不要です。)
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】三木市 健康福祉部 子育て支援課 電話：0794-83-2020

FAX：0794-82-5881

1 お子さまとご家族の状況について

問1 宛名のお子さまは何年生ですか。(1つに○)

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生

問2 宛名のお子さまを含め、お子さまは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、一番下のお子さまの年齢(令和5年4月1日現在の年齢)をご記入ください。

子どもの数：()人 一番下の子の年齢：()歳

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さまからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 父親 2. 母親 3. その他 ()

問4 お住まいの小学校区はどちらですか。(1つに○)

1. 三樹小学校区 2. 平田小学校区 3. 三木小学校区 4. 別所小学校区
5. 志染小学校区 6. 口吉川小学校区 7. 豊地小学校区 8. 緑が丘小学校区
9. 緑が丘東小学校区 10. 自由が丘小学校区 11. 自由が丘東小学校区 12. 広野小学校区
13. 吉川小学校区 14. わからない

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

※このアンケートでは、法的に婚姻関係ではなくても同居しているパートナーがいる場合は配偶者に含めます。また、別居している配偶者は配偶者には含めません。ただし、単身赴任の場合は配偶者に含めます。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

2 子どもの育ちをめぐる環境について

問6 日頃、お子さまを預けられる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預けられる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預けられる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

問7 お子さまの子育てに関して、気軽に相談できる先は、ありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 祖父母等の親族
3. 友人や知人	4. 小学校
5. 保健センター	6. 児童センター・吉川児童館
7. 児童センター・吉川児童館以外の子育て支援団体	8. 子育て支援総合窓口
9. 子育て支援総合窓口以外の市役所の窓口	10. かかりつけの医師
11. その他（	12. いない

3 保護者の就労状況について

問8 宛名のお子さまの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)についてお答えください(父親と母親それぞれ1つに○)。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

(1)父親 ※ひとり親家庭(母親のみ)の場合は記載不要

1. 週に 30 時間以上で働いている
2. 週に 12 時間以上、30 時間未満で働いている
3. 週に 12 時間未満で働いている
4. 休職中だが、週に 30 時間以上での復帰を予定している
5. 休職中だが、週に 30 時間未満での復帰を予定している
6. 現在求職中である
7. 病気や障がい、通学などのために仕事ができない
8. 現在仕事をしておらず(休職中を含む)、今のところ仕事をする(復帰する)予定はない
9. その他（

(2)母親 ※ひとり親家庭(父親のみ)の場合は記載不要

1. 週に 30 時間以上で働いている
2. 週に 12 時間以上、30 時間未満で働いている
3. 週に 12 時間未満で働いている
4. 休職中だが、週に 30 時間以上での復帰を予定している
5. 休職中だが、週に 30 時間未満での復帰を予定している
6. 現在求職中である
7. 病気や障がい、通学などのために仕事ができない
8. 現在仕事をしておらず(休職中を含む)、今のところ仕事をする(復帰する)予定はない
9. その他（

4 宛名のお子さまの放課後の過ごし方（アフタースクールの利用）について

問9 宛名のお子さまは現在、アフタースクールを利用していますか。アフタースクール以外の放課後の事業を含め、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|----------|
| 1. アフタースクール※ ¹ を利用している | ⇒ 問9-1 へ |
| 2. ファミリーサポートセンター※ ² を利用している | |
| 3. 放課後等デイサービス※ ³ を利用している | |
| 4. その他の事業を利用している(具体的に: _____) | |
| 5. どれも利用していない | ⇒ 問9-2 へ |

※1 アフタースクール : 三木市では小学1年生から6年生を対象として、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、放課後や土曜日、夏・冬・春休みに支援員のもとで、子どもの生活の場を提供しています(学童保育または放課後児童クラブとも言いますが、三木市ではアフタースクールと呼んでいます)。

※2 ファミリーサポートセンター: 地域住民が子どもを預かったり、預けたりする事業です。

※3 放課後等デイサービス: 障がいのある子どもや発達に特性のある子どものための、放課後や夏休みなどの長期休暇に利用できる福祉サービスです。

※1～3はいずれも一定の利用料がかかります

問9-1 問9で「1. アフタースクールを利用している」を選ばれた方におうかがいします。

1週間の利用日数はどれくらいですか。また、利用している理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|------------|-------|
| 週に()日くらい利用している | ⇒ うち土曜日の利用 | 1. ある |
| | | 2. ない |

【利用している理由(1つに○)】

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 保護者等が現在就労・就学している | |
| 2. 保護者等が、就労予定がある/求職中である | |
| 3. 保護者等が家族・親族などを介護している | |
| 4. 保護者等が病気や障がいを持っている | |
| 5. その他(_____) | |

問9-2 問9で「1. アフタースクールを利用している」を選ばれた方におうかがいします。

現行の利用可能時間は18時(延長は19時)までとなっていますが、あて名のお子さまのお迎えの時間帯について、多いものに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 18時まで | 2. 18時～18時30分 |
| 3. 18時30分～19時 | 4. その他(_____) |

問9-3 問9で「5. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

宛名のお子さまについて、今後、アフタースクールを利用したいとお考えですか(1つに○)。また、利用したい場合は週に何日くらい利用したいかを()に数字で記入してください。

- | |
|--|
| 1. 利用したい 週に()日くらい ⇒問9-3へ |
| 2. 利用したいが、要件(就労など)を満たさないため利用できない →問10へ |
| 3. 今後も利用したいとは思わない ⇒問10へ |

問9-4 問9-2で「1. 利用したい」を選ばれた方におうかがいします。

今後、放課後に、アフタースクールを利用したい理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 保護者等が現在就労・就学している |
| 2. 保護者等が、就労予定がある／求職中である |
| 3. 保護者等が家族・親族などを介護している |
| 4. 保護者等が病気や障がいを持っている |
| 5. その他() |

問10 すべての方におうかがいします。

宛名のお子さまの小学4年生以降(高学年)のアフタースクールの利用について、どのようにお考えですか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. アフタースクールを、小学(4・5・6)年生まで利用したい |
| 2. アフタースクールの利用希望はない 何年生まで利用したいか○をつけてください |
| 3. その他() |

問11 宛名のお子さまについて、日曜日・祝日のアフタースクールの利用希望はありますか(それぞれ1つに○)。また、利用したい場合は、利用したい時間帯もご記入ください。

(1)日曜日

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 利用する必要はない | 利用したい時間帯 |
| 2. ほぼ毎週利用したい | } ⇒ ()時～()時 |
| 3. 月に1～2回は利用したい | |
| ※24時間で記入してください 例：(9)時～(17)時 | |

(2)祝日

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 利用する必要はない | 利用したい時間帯 |
| 2. ほぼ毎週利用したい | } ⇒ ()時～()時 |
| 3. 月に1～2回は利用したい | |
| ※24時間で記入してください 例：(9)時～(17)時 | |

問12 宛名のお子さまについて、お子さまの長期の休暇期間中(夏・冬・春休み)限定のアフタースクールの

利用希望はありますか(1つに○)。また、利用したい場合は、利用したい時間帯もご記入ください。

※なお、アフタースクールの利用は、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合を条件とします。

1. 利用する必要はない	利用したい時間帯
2. ほぼ毎日利用したい	} ⇒ () 時～() 時 ※24 時間で記入してください 例：(9) 時～(17) 時
3. 週に1～2回は利用したい	

問 13 国においては、地域住民が主体となって、放課後や週末に子ども同士、子どもと大人の交流の機会をもうけ、体験及び学習活動を行う「放課後子ども教室」が推進されています(三木市では未実施)。「放課後子ども教室」があれば利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 利用したいし運営に協力したい	2. 運営に協力はできないが利用したい
3. 運営に協力したいが利用はしない	4. 運営への協力はできず、利用もしない

放課後子ども教室：地域のボランティア等が主体となって実施され、保護者の就労等を条件とせずすべての子どもを対象として、放課後等に様々な体験活動や学習活動を行ったり、子ども同士や子どもと大人の交流の機会をもうけたりする事業です。開催日は地域の実情によりま

5 お子さまの病気の際の対応について

問 14 この1年間に、宛名のお子さまが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(1つに○)

1. あった ⇒ 問 14-1～3 へ	2. なかった ⇒ 問 15 へ
---------------------	------------------

問 14-1 問 14 で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。

学校を休んだ日数は、1年間にだいたい何日くらいありましたか。(数字を記入)

年に () 日くらい

問 14-2 問 14 で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。

学校を休んだ日数のうち、お子さまをどこかで保育(看護を含む)してもらいたいと思った日数は、だいたい何日くらいありましたか。(数字を記入)

年に () 日くらい ※病院等に入院していた日数は含めません
--

問 14-3 問 14 で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。

その際、病児・病後児保育(下記参照)を利用しましたか。当てはまる番号に○をつけ、利用した日数についても()内に数字でご記入ください。

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 病児・病後児保育を利用した【年に()日利用した】 | ⇒ 問 15 へ |
| 2. 病児・病後児保育を利用しなかった | ⇒ 問 14-4 へ |

病児・病後児保育：「病氣中・病氣回復期」にある児童の一時預かり事業です。三木市では、生後6か月～小学校6年生までの児童で「病氣中」または「病氣の回復期」のため、家庭や集団での保育看護が困難となった児童を対象に市内1か所で実施しています。

問 14-4 問 14-3 で「2. 病児・病後児保育を利用しなかった」を選ばれた方におうかがいします。
利用しなかった理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 親が仕事を休んで対応した |
| 2. 病児・病後児保育について知らなかった |
| 3. 手続き方法・利用料がわからない |
| 4. 利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い |
| 6. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安がある |
| 7. その他() |

6 宛名のお子さまの宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ)について

問 15 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病氣など)により、宛名のお子さまを泊まりがけで家族・親族以外に預けなければならないことはありましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 1～2日あった | 2. 3～4日あった |
| 3. 5～10日あった | 4. 10日以上あった |
| 5. なかった | |

7 児童センター・吉川児童館について

問 16 宛名のお子さまは、現在、児童センター、吉川児童館を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 児童センターを利用している | 2. 吉川児童館を利用している |
| 3. 利用していない | |

問 17 児童センター、吉川児童館について、今後、利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 現在利用しており、今後も同じように利用を続けたい
2. 現在利用しているが、できれば利用日数を増やしたい
3. 現在利用していないが、できれば今後利用したい
4. 現在利用しておらず、これからも利用したいとは思わない
5. その他（)

問 18 児童センター、吉川児童館を利用するにあたり、より充実してほしいことはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 小学生向けのイベントを増やす
2. イベントよりも施設を自由に使えるほうが良い
3. 育児相談などの充実
4. 利用方法やイベント情報のPR
5. その他（)
6. 今のままでよい

8 ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かったり、預けたりする事業）の利用について

問 19 ファミリーサポートセンターを利用していますか。（1つに○）

1. 利用している ⇒ 問 19-1・2へ
2. 利用していない ⇒ 問 20へ

問 19-1 問 19で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

どのような目的で利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 習い事等への子どもの送迎
2. 学校が休みのときの子どもの預かり
3. アフタースクールで足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
4. アフタースクールの送迎に利用している
5. 保護者が病気や急用のときに利用している
6. その他（)

問 19-2 問 19で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

どのくらい利用していますか。月当たりの利用回数と、1回当たりの利用時間について()内に数字をご記入ください。

月に()日くらい

1回当たり()時間くらい

問 20 ファミリーサポートセンターについて、今後、利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 現在利用しており、今後も同じように利用を続けたい
2. 現在利用しているが、できれば利用日数を増やしたい
3. 現在利用していないが、できれば今後利用したい
4. 現在利用しておらず、これからも利用したいとは思わない
5. その他()

9 学校教育について

問 21 三木市では、近年「確かな学力」の向上、「豊かな心」の育成、教職員の資質及び指導力の向上などに重点的に取り組んでいます。そこで、学校教育についておたずねします。教育内容について何を望まれますか。当てはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 読み・書き・計算などの基礎学力の定着
2. 思考力・判断力・表現力など学んだ事柄を活用する力の育成
3. 集団活動などを通じた自律性、主体性、規範意識等の育成
4. 返事、あいさつなど基本的な生活習慣の確立
5. 自他を大切にし、よりよい生き方をめざす道徳教育・人権教育の充実
6. 社会性や自立心を育む体験活動の充実
7. 社会人・職業人として将来に必要な能力を育成するキャリア教育の充実
8. 国や郷土を愛する態度を育てるふるさと教育の充実
9. その他()

問 22 学校の運営に関して何を望まれますか。当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

1. 学校施設の充実
2. 警備員の配置などによる安全の確保
3. 昔遊びを一緒に行うなど学校と地域が連携した教育活動の充実
4. 学校情報の公開
5. その他()

10 子育てについて悩んでいることについて

問 23 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児のことがよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもと過ごす時間が十分とれないこと
6. 子どもの教育に関すること
7. 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
8. 子どもの登校拒否などの問題
9. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
10. 配偶者や祖父母と子育てに関して意見が合わないこと
11. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること
12. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
13. 仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間が十分とれないこと
14. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
16. 子育てにかかる出費がかさむこと
17. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれないこと
18. 住居が狭いこと
19. その他（）
20. 悩んでいることや気になることはない

問 24 子育てをしていて、お子さまにつらくあたってしまうようなことがありますか。①～④のそれぞれについて、1～4のいずれか1つに○をつけてください。

	よくある	ときどきある	たまにある	ない
①子どもをたたいたり、つねったりすることがある	1	2	3	4
②子どもに対して、どなったり、または無視したりすることがある	1	2	3	4
③子どもの食事や身支度などの世話をするのが面倒に感じ、放っておくことがある	1	2	3	4
④子どもにつらくあたりそうなときは、人に相談するなどして解消している	1	2	3	4

問25 「しつけ」のためであれば、子どもへの「体罰」や「虐待」に当たる行為は、すべきだと思いますか。

1. 積極的にすべきである
2. 必要に応じてすべきである
3. 他に手段がないと思ったときのみすべきである
4. 決してすべきではない

11 三木市の子育て環境全般について

問 26 あなたは、三木市の子育て環境等に関する以下の項目を、どのように感じますか。①～⑨のそれぞれについて、1～5のいずれか1つに○をつけてください。

	そう 思う	ある 程度 そう 思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	わ か ら な い
①子育て中に楽しめるイベントが充実している	1	2	3	4	5
②子育てしながら安心して働ける	1	2	3	4	5
③小児医療体制に満足している	1	2	3	4	5
④子どもへの教育環境が充実している	1	2	3	4	5
⑤青少年が健全に過ごせるまちだと感じる	1	2	3	4	5
⑥障がいなどがある子どもを安心して育てられる	1	2	3	4	5
⑦子育てが地域の人たちに支えられている	1	2	3	4	5
⑧公園など子どもの遊び場が充実している	1	2	3	4	5
⑨子どもが犯罪被害にあう事の少ない安全なまちだ	1	2	3	4	5

問 27 宛名のお子さまの子育てをする上で、主に誰(どこ)から情報を収集していますか。当てはまる番号す

べてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 祖父母等の親族
3. 友人や知人	4. 小学校
5. 保健センター	6. 児童センター・吉川児童館
7. 児童センター・吉川児童館以外の子育て支援団体	8. 自治体の子育て関連担当窓口
9. 民生委員・児童委員	10. かかりつけの医師
11. 三木市の広報・ホームページ	12. 書籍・雑誌
13. インターネット・SNS	14. その他（ ）

問 28 あなたは、三木市に住んでどのくらいになりますか。（数字を記入）

（ ）年

問 29 あなたは、今後も三木市に住み続けて子育てをしたいと思いませんか。（1つに○）

1. 住み続けたい	2. 住み続けたくない	3. わからない
-----------	-------------	----------

問 30 最後に、三木市における子育ての支援や教育・保育サービスの充実について、ご意見やご提案があれば、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

この調査票は、○月○日(○)までに、
同封の返信用封筒に入れて、ポストに投かんしてください。

第二期
三木市子ども・子育て支援事業計画
中間年の見直し

令和5年3月

三 木 市

目 次

第5章 事業実施の見込みと確保方策	3
1. 子どもの人口の見込み	3
3. 就学前教育・保育の見込みと受け入れ施設の確保	4
4. 地域子ども・子育て支援事業の見込みと確保方策	8

第二期三木市子ども・子育て支援事業計画の見直し概要

第5章 事業実施の見込みと確保方策

1 子どもの人口の見込み

平成27年度から令和4年度の住民基本台帳人口をもとに、転入・転出の動向をはじめ、子どもを出産する母親世代の状況、各地域の住宅開発の進捗等に加え、コロナ感染による出生数の大幅な減少なども再考し、本計画期間中の子どもの人口を推計しました。

3 就学前教育・保育の見込みと受け入れ施設の確保

(1) 1号認定

前回予測より、就園希望数が上昇しているため、計画数値を上方修正しました。

(2) 2号認定

前回予測より、就園希望数が上昇しているため、計画数値を上方修正しました。

(3) 3号認定

前回予測より、就園希望数が上昇しているため、計画数値を上方修正しました。

ただし、この数値はあくまで4月当初における必要数であり、年度末においては、さらに就園希望数が上昇している状態にあると予想されます。

4 地域子ども・子育て支援事業の見込みと確保方策

(2) 地域子育て支援拠点事業

就学前利用人数は、低年齢児から就園する児童の増加、小学生利用人数はコロナの影響を受けともに利用者が減少している。また1人あたりの利用回数も減少しているため、計画数値を下方修正しました。

(8) 一時預かり事業

認定こども園等において、在園1号認定児童を通常の教育時間を超えて預かったり(預かり保育)、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、一時的に預かりを行う事業の項目を新たに追加しました。

① 認定こども園等における在園児を対象とした一時預かり

以前は認定こども園でのみ実施していましたが、令和4年1月から幼稚園での一時

預かりも始まったことや、保護者のニーズ自体も高まっていることから、大幅な上方修正としました。

②その他の一時預かり

低年齢児から就園する児童が増えたため、家庭からの保育利用を希望する対象数自体が減少したため、下方修正としました。

(9) 延長保育事業

2号・3号認定児童数の見込みをいずれも上方修正することから、延長保育事業利用児童数の見込みについても上方修正しました。

(11) 放課後児童健全育成（アフタースクール）事業

子どもの人口の見込み数の修正及び利用実績の近年の動向から今後のアフタースクールの利用見込数を精査しました。

【注】計画見直しの「章立て（番号等）」は、計画本編と同様としています。

第5章 事業実施の見込みと確保方策

1. 子どもの人口の見込み

平成27年度から令和4年度の住民基本台帳人口をもとに、転入・転出の動向をはじめ、子どもを出産する母親世代の状況、各地域の住宅開発の進捗等に加え、コロナ感染による出生数の大幅な減少なども再考し、本計画期間中の子どもの人口を推計しました。就学前、小学生ともに年々減少が予想され、令和6年度の推計児童数は、就学前児童で2,582人、小学生児童で3,328人、合計で5,910人となっています。

■就学前人口と小学生人口の推計（各年度4月1日時点） (人)

	令和5年度		令和6年度	
	変更前	変更後	変更前	変更後
0歳	390	397	382	390
1歳	413	425	400	413
2歳	425	376	419	434
3歳	443	504	431	385
4歳	446	445	446	507
5歳	502	495	448	453
6歳	539	540	504	496
7歳	553	546	538	541
8歳	575	565	553	542
9歳	596	587	574	568
10歳	592	591	595	587
11歳	644	633	592	594
就学前児童 (0～5歳)	2,619	2,642	2,526	2,582
小学生児童 (6～11歳)	3,499	3,462	3,356	3,328
合計 (0～11歳)	6,118	6,104	5,882	5,910

3. 就学前教育・保育の見込みと受け入れ施設の確保

就学前の子どもの教育・保育については、子どもの年齢と保育の必要性の認定に基づき、3つの認定区分に基づいて利用できる施設や時間が変わります。そのため、それぞれの認定区分別に量の見込みと確保方策を示すことになります。

■認定区分

年齢	満3歳以上		0～2歳
認定区分	1号認定 (教育標準時間認定)	2号認定 (保育認定)	3号認定 (保育認定)
対象者	幼稚園等での教育を希望する場合	就労等で保育の必要な事由に該当し、保育所等での保育を希望する場合	就労等で保育の必要な事由に該当し、保育所等での保育を希望する場合
利用できる施設	幼稚園 認定こども園(教育部分利用)	保育所 認定こども園(保育部分利用)	保育所・認定こども園 小規模保育施設

(1) 1号認定

3～5歳で保育の必要性がない認定区分（認定こども園、幼稚園）です。令和4年4月1日現在市内の幼稚園4か所、認定こども園14か所で実施されています。

■1号認定の量の見込み（各年度4月時点）

(人)

		令和5年度		令和6年度	
		変更前	変更後	変更前	変更後
第1園区	① 就園児童数の見込み	100	126	94	116
	② 施設の受入人数	100	193	94	163
	③ ①-②	0	△67	0	△47
第2園区	① 就園児童数の見込み	117	106	108	104
	② 施設の受入人数	117	178	108	138
	③ ①-②	0	△72	0	△34
第3園区	① 就園児童数の見込み	14	20	13	14
	② 施設の受入人数	14	20	13	20
	③ ①-②	0	0	0	△6
全市	① 就園児童数の見込み	231	252	215	234
	② 施設の受入人数	231	391	215	321
	③ ①-②	0	△139	0	△87

※就園児童数の見込みは直近3か年の利用率の動向と推計人口から算出

◆確保方策◆

第1園区、第3園区の見込み数は微増していますが、概ね当初計画通りに利用が減少する見込みとなっており、現状の施設整備と定員数で対応します。

(2) 2号認定

3～5歳で保育の必要性がある認定区分（保育所、認定こども園）です。令和4年4月1日現在市内の保育所1か所、認定こども園14か所で開催されています。

■ 2号認定の量の見込み（各年度4月時点） (人)

		令和5年度		令和6年度	
		変更前	変更後	変更前	変更後
第1園区	① 就園児童数の見込み	620	604	596	562
	② 施設の受入人数	620	646	596	646
	③ ①-②	0	△42	0	△84
第2園区	① 就園児童数の見込み	361	424	340	418
	② 施設の受入人数	361	474	340	451
	③ ①-②	0	△50	0	△33
第3園区	① 就園児童数の見込み	78	99	71	70
	② 施設の受入人数	78	106	71	106
	③ ①-②	0	△7	0	△36
全市	① 就園児童数の見込み	1,059	1,127	1,007	1,050
	② 施設の受入人数	1,059	1,226	1,007	1,203
	③ ①-②	0	△99	0	△153

※就園児童数の見込みは直近3か年の利用率の動向と推計人口から算出

◆確保方策◆

第2園区の利用が増加する傾向にありますが、現状の施設整備と定員数で対応できる見込みです。

(3) 3号認定

0～2歳で保育の必要性がある認定区分（保育所、認定こども園、地域型保育事業所）です。令和4年4月1日現在、市内の保育所1か所、認定こども園14か所、小規模保育事業所6か所、事業所内保育事業所1か所で開催されています。

① 0歳児

■ 3号認定0歳児の量の見込み（各年度4月時点） (人)

		令和5年度		令和6年度	
		変更前	変更後	変更前	変更後
第1園区	① 就園児童数の見込み	38	34	38	34
	② 施設の受入人数	38	92	38	92
	③ ①-②	0	△58	0	△58
第2園区	① 就園児童数の見込み	23	22	23	21
	② 施設の受入人数	23	49	23	52
	③ ①-②	0	△27	0	△31
第3園区	① 就園児童数の見込み	9	4	8	4
	② 施設の受入人数	9	9	8	9
	③ ①-②	0	△5	0	△5
全市	① 就園児童数の見込み	70	60	69	59
	② 施設の受入人数	70	150	69	153
	③ ①-②	0	△90	0	△94

※就園児童数の見込みは直近3か年の利用率の動向と推計人口から算出

② 1、2歳児

■ 3号認定1、2歳児の量の見込み（各年度4月時点） (人)

		令和5年度		令和6年度	
		変更前	変更後	変更前	変更後
第1園区	① 就園児童数の見込み	310	265	308	297
	② 施設の受入人数	310	333	308	333
	③ ①-②	0	△68	0	△36
第2園区	① 就園児童数の見込み	149	221	144	215
	② 施設の受入人数	149	202	144	215
	③ ①-②	0	19	0	0
第3園区	① 就園児童数の見込み	45	32	42	39
	② 施設の受入人数	45	45	42	45
	③ ①-②	0	△13	0	△6
全市	① 就園児童数の見込み	504	518	494	552
	② 施設の受入人数	504	580	494	593
	③ ①-②	0	△62	0	△41

※就園児童数の見込みは直近3か年の利用率の動向と推計人口から算出

◆確保方策◆

4月当初の見込み数は現在の受入人数で賄っていますが、例年0～2歳児は途中入所により年度内で就園児童数が増加し、3月末には就園を希望する児童数が受入人数を超える見込みとなっています。また、推計児童数が減少していても、低年齢から就園を希望する児童数が年々増加していることから、可能な施設で定員数を増加し、対応します。

4. 地域子ども・子育て支援事業の見込みと確保方策

地域子ども・子育て支援事業については、実施する事業について、量の見込みと確保方策を示すことが求められています。本市ではすべての事業について、市全体を提供区域として量の見込みを定め、確保方策については、量の見込みと同数を実施するものとします。

(2) 地域子育て支援拠点事業

児童、保護者等が相互の交流・研修を行う場所を提供するとともに、保育の専門員を配置し、子育てについての学習、相談、情報の提供、助言その他のサポートを行なっています。本市においては児童センターと吉川児童館の2か所で実施しています。

■地域子育て支援拠点事業の量の見込み (か所・人日)

	令和5年度		令和6年度	
	変更前	変更後	変更前	変更後
実施か所数	2	2	2	2
就学前利用人数	14,074	9,330	13,663	9,672
小学生利用人数	1,711	537	1,634	518
利用人数合計	15,785	9,867	15,297	10,190

※利用人数の見込みは直近3か年の利用率の動向と推計人口から算出。就学前については主な利用が保育所等を利用していない0～2歳であることを考慮して算出。

◆確保方策◆

0～2歳の就園率の増加に伴い、就学前利用人数が減少しています。小学生利用人数はコロナウイルス感染拡大をきっかけに利用者が減少し、その後も利用離れがあり計画値を大幅に下回っています。

(8) 一時預かり事業

認定こども園等において、在園1号認定児童を通常の教育時間を超えて預かったり（預かり保育）、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、一時的に預かりを行う事業です。

①認定こども園等における在園児を対象とした一時預かり

■認定こども園等における在園児を対象とした一時預かりの量の見込み (人日)

	令和5年度		令和6年度	
	変更前	変更後	変更前	変更後
利用人数	1,261	2,439	1,260	2,295

※利用人数の見込みは直近3か年の利用率の動向と1号認定者数の見込みから算出。

◆確保方策◆

市内幼保連携型認定こども園14か所及び幼稚園（令和5年度：4か所、6年度：2か所）で対応します。

②その他の一時預かり

■その他の一時預かりの量の見込み

（人日）

	令和5年度		令和6年度	
	変更前	変更後	変更前	変更後
認定こども園での一時預かり	505	220	477	214
児童センター等での一時預かり	477	477	510	510

※利用人数の見込みは直近3か年の利用率の動向と推計人口から算出。

◆確保方策◆

市内幼保連携型認定こども園で対応します。（令和4年4月1日現在14か所）
児童センターの他、地域差を解消するため令和4年度から吉川児童館においても週1日実施しています。

（9）延長保育事業

保育認定を受けた子どもについて、利用時間以外の時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施します。令和4年4月1日現在、市内の保育所1か所、認定こども園14か所、小規模保育事業所5か所で実施しています。

■延長保育事業の量の見込み

（人）

	令和5年度		令和6年度	
	変更前	変更後	変更前	変更後
利用人数	720	751	694	732

※利用人数の見込みは直近3か年の利用率の動向と2・3号認定者数の見込みから算出。

◆確保方策◆

引き続き、市内の保育所1か所、認定こども園14か所、小規模保育事業所5か所で対応します。

(11) 放課後児童健全育成（アフタースクール）事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業です。市内の小学校区を対象に、13事業所で児童に遊びや生活の場を提供する事業を実施しています。

■放課後児童健全育成事業の量の見込み（各年度4月時点）（人）

	令和5年度		令和6年度	
	変更前	変更後	変更前	変更後
1年生	305	309	295	285
2年生	241	278	245	275
3年生	223	179	225	219
4年生	122	123	123	114
5年生	46	35	49	69
6年生	26	11	27	21
合計利用人数	963	935	964	983

※利用人数の見込みは、児童数の推計人口と直近の利用率の動向に基づき算出。

◆確保方策◆

支援員・補助員の人材確保に注力し、引き続き利用希望者全員を受け入れられる体制を整備します。